

令和6年度 戸隠公民館運営審議会 会議録

- 1 日 時 令和6年6月6日（木）午前10時から11時10分まで
- 2 場 所 戸隠公民館 大会議室
- 3 出席者 委員7人（定数7人で欠席者なし）事務局2人（館長、係長）
合計9人
- 4 傍聴人 なし
- 5 取 材 なし

6 会議事項

- (1) 戸隠公民館重点目標について
- (2) 令和5年度戸隠公民館事業実施状況について
- (3) 令和6年度戸隠公民館事業計画等について
- (4) その他
 - ア 貸館予約システム導入について
 - イ 合併20周年記念事業について

7 議事録（質疑応答内容）

- (1) 戸隠公民館重点目標について
特になし

- (2) 令和5年度戸隠公民館事業実施状況について

- (3) 令和6年度戸隠公民館事業計画等について

（委員）

最近開講した内容で、特に人気の講座や教室はどのようなものがあるか。

（事務局）

「園芸講座」は受付開始後、早期に定員に達している。

今年度は「地域探検」も受付開始初日で定員に達した。昨年度まではそのような事例はない。しかし、今回地区外からの方の参加申込もあったこともあり、初日に定員という結果となった。

「クラフトバンド講座」は、かがやきひろばでも開催している講座内容なので、時期が重複しないように工夫しながら、公民館でそしてかがやきひろばでも実施と、連携を取り開催している状況である。この講座も、ほぼ定員数の市民から問合せと申込があった。受講者全員が精力的に参加していただいている。

「トガクシショウマ栽培講座」に関しては、昨年度の6月開講から今年度は7月開講へと開催時期をシフトして計画を立てたので、申込受付はこれからであるが、既に2件ほど問合せが来ている。受講者が定員となるか否かは、実際に受付をしてみないとわからない。

「ストレッチ」に関しては3か月ごとにテーマを変え、年4回シリーズで、継続的に開催して

いる。受講者の健康増進を図り、お互いに交流が深められるよう、本館としては大事にしている講座である。そして、新規参加者が増えるようにと考え、会場を本館ホールのほか、各月の開講日のうち半分程度は、農村環境改善センターへ場所を移して実施しているものの、参加人数は伸び悩んでいるところである。

(委員)

「地域探検」は、陣場平へ行ったとのことであるが。陣場平には何か見学場所等はあるのか。

(事務局)

陣場平にはトレッキングコースがあり、戸隠地質化石博物館の研究者(以下「研究者」と記す。)を講師に迎え実施した。上の方まで行くと、戸隠方面も綺麗に見えるところがある。当日は朝の天候が良好ではなく何も見えなかったが、途中から晴れ間が出て、地区の住宅があるところは見ることができた。個人ではなかなか行かない場所で、連れて行ってくれるなら、そして案内してくれるなら行ってみたいという皆様が多かった。その日快晴ではなかったので、研究者から「また個人的に行っていただきたい。」と助言があったが、熊出没の心配もあり「少人数では怖い」というお話もしていただいた。普段行けそうで行かない場所、昨年度は行かれなかった場所なので、今回申し込みが多かったと思われる。

(委員)

場所の選定は誰が行うのか。

(事務局)

公民館職員や講師を頼んでいる研究者に相談の上選定している。

(委員)

今年あと残り2回の「地域探検」はどんな計画か。

(事務局)

2回目は森林囃子の向こう側の化石が発掘できる地層を見学し、3回目は宝光社方面の古道を歩いて、火之御子社の辺りを計画している。今後下見をしてルートを決める予定である。

(委員)

研究者は大活躍であると思う。

(事務局)

お見込みのとおりである。研究者に講師を引き受けていただいているおかげで、参加者の皆様も集まるのだと思う。研究者は市内他の市立公民館等、様々なところから講師のお声がかかっている、大変多忙を極めていると認識している。

(委員)

20周年事業の講演会も研究者に講師をお願いしている。委員の皆様にはぜひご参加をお願いしたい。

(委員)

「食の安全と環境を考える学習会」の講座内容は決定しているか。

(事務局)

日程は決まっているが、見学先は未定である。

(委員)

昨年度参加させていただいたところ、大人の社会見学でとても良かったと思っている。

(委員)

どのような内容だったのか。

(事務局)

昨年度は、令和元年度に見学を予定していた施設であったが、台風19号災害でバスが利用できず、その後も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、見学先での受入れが困難で、見学できなかった竹村製作所、直富商事を中心に検討した。また長野特殊黒板製作所という、家族経営で黒板を修理・再生している会社もコースに入れて見学した。最近、我々の日常生活では黒板に触れることが極めて少ないと思うが、黒板がどのように再生されているのかということを見学させていただいた。

(委員)

そのような会社等の情報は、どのような手法で入手するのか。

(事務局)

インターネット等で調べた。当初は「子ども体験教室」の訪問先として、子どもたちにとっては身近な黒板が、どのように再生されているか知ってもらいたいと思い申し入れたところ、学校に子どもたちがいない長期休業中は、黒板の納品等で現場に出張することが多く不在にすることがあるため、見学受入れはできないとのことであった。そこで、対象を大人に変更し、大人の皆様に昔を思い返していただけるかと考え、時期的にも見学可能な環境学習会で計画・実施したという経緯である。会社の所在は長野市内ではなく、須崎市であったが見学を実施した。

(委員)

昨年度この見学に参加させていただいたが、ご夫婦二人で作業をしていて、新鮮に感じたところである。大きな企業とは違って、家族でとても一生懸命働いていたと目に映った。

(委員)

ユニークな取り組みをしている会社等を、どういうふうに掘り起こしていくかというところであるかと思う。

(事務局)

先ほども申し上げたとおり、見学場所をインターネット等で探している。参加者の皆さんにご負担をいただければ、もっとユニークな見学先が見つかるかもしれないが、高額での参加費を設定した場合、申込がないかもしれないので、参加しやすい内容を検討しながら場所を選定している。委員の皆様から、何か良い情報があれば教えていただけると嬉しいと思う。「子ども体験教室」では、小学1～6年生まで全学年の参加者が楽しめ、学校の社会見学で行かれないような場所を意識して計画している。

(委員)

「赤ちゃん登校日」では中学生が関わっているが、とても特徴的な取り組みをしていただいていると思った。家庭科の授業の一環で保育園との交流はあるが、このような機会がないとなかなか赤ちゃんと接する機会がないと思うので、本当に大事にしていきたいと思っている。戸隠中学校では出産・育児休暇中の職員がおり、この講座に合わせて、その職員が自分のお子さんを連れてきて、生徒と触れ合ってもらっている。今年度5月の「赤ちゃん登校日」には、お子さんの体調が悪く参加できなかったが、出産・育児休暇中の職員の復帰という面でも繋がりができて非常にありがたいと思っている。

(事務局)

この事業は継続的に毎年度開講しているので、いずれは、「赤ちゃん登校日」へ当時中学生として参加した方が、お父さん・お母さんになってお子さんを連れて参加するようになってくると

思われる、そういった側面からも継続的に開催していきたいと思っている。

小学校も中学校も、職員全員で子どもを支えようと力を入れている中で、本館の「赤ちゃん登校日」も、中学の学習の一環として受け入れていただいているのだと認識している。2回のうち1回は中学校主催で開催している。公民館主催で5月に開催した「赤ちゃん登校日」では、中学校の生徒の皆さんの歌声がとても素晴らしかったと聞いており、今後も続けていきたいと思う。先ほども述べたが、中学生だった子どもたちが、いずれは親になって子どもを連れてきていただくというような流れができると良いと思っている。

(委員)

「赤ちゃん登校日」は続けていっていただきたい。委員の皆様、他にご意見等はあるか。

(委員)

個人的に、障害者関係のボランティアに関わらせてもらっているが、講演会の時にスクリーンで字幕をつける講演会が増えてきている。県や市も障害者関係の条例ができており、耳が不自由とかだけでなく、健常者でも高齢化が進んで聞こえにくいという方も増えているので、そういうのを一度つけてみるというのも良いかと思う。ただちには予算的なこともあり実施は無理かもしれないが、何等かの機会にそういうことも考えていただけたらと思う。結構評判が良く、それを見ながら講演を聞けるというのは、高齢者にとっても耳の不自由な方にとっても有効だと思われる。そのようなことを知らない方も多いので、一度やってみたらどうかと思う。

(委員)

ご提案感謝する。確かに相応の年齢になると会話等も聞き取りにくい場面があったり、物が見えにくくなるということもある。

(事務局)

耳が不自由ということだけでなく、知らない言葉でも字幕で漢字を見ると意味を理解できることもあり、とても良い話だと思うので検討していきたいと思う。

(委員)

講演を聞いてパソコンを打つ人は一人では厳しいかと思うが。

(委員)

二人とか四人とかで入力している。

(委員)

かなり予算がかかりそうである。

(委員)

ある会社があるのだが、そちらに聞いていただくと情報はあると思われる。

その他、市の保健福祉部の各課に問い合わせしてみるのも良い。

(事務局)

確認してみたいと思う。合併 20 周年記念事業で講演会もあり、幅広い年齢層の方を参集するとすれば取り入れてみるもの良いかと思う。

(委員)

字幕が付くという宣伝をすれば、来られる方も増えるかもしれない。

(委員)

予算がどのくらいかかるか。

(委員)

自分でも作りたいということもある。映像を作って、地域の皆さんに見てもらえるようなもの

を作りたいと思う。パソコンで作ってその映像を流せば良いのであるが、手法とかを教えてください。できればありがたい。

(委員)

パワーポイントとか。

(委員)

地域に一人くらいずつ映像を作れる人がいれば、数多く色々なものができると思う。

(委員)

パワーポイント教室とか考えてほしい。

(事務局)

市もDX化が進んでおり、パソコンもであるが、まずはスマートホンを学ぶことを優先している。スマートホンでも可能かもしれないが、少々操作等のレベルが高くなってくるので、まずは基本的なところから動いているが、発展する形で実施していけると良いかと考えている。

(委員)

以前、パソコン教室はあったと思うが。それはワード、エクセルか。

(事務局)

パソコン教室は随分前に開講していた。ご年配の方に講師をお願いし夜間に開講していたが、夜に本館まで来ていただくのが大変だったというような話も聞いており、講師を見つけるところからスタートとなる。委員の皆様、どなたかご存じであれば情報をいただきたい。

(委員)

支所の職員はどうか。人材としては豊富ではないのか。

(事務局)

自分で使うのと人に教えるのは違うかと思うので、事務局でも色々な方にお聞きしてみたいと思っている。

(委員)

了解した。よろしくお願ひしたい。

(委員)

「野山の植物散策」に参加したいと思っていたが、木曜日の開催ということで、かがやきひろばの押し花講座と日程が重なってしまって残念なので、今年度は無理であるが、配慮していただけると嬉しいと思う。

(事務局)

その点は申し訳ないと思っている。新年度となる前に住民自治協議会はじめ、保健センター、かがやきひろば、そして施設運営が民間移行となってしまったが、在宅介護支援センターといった各施設職員と本館職員で事前に講座や行事の計画と日程等について、可能な限り日程等が重ならないように打ち合わせし、旧年度の反省も含め行事や講座を調整する会議を、ここ数年実施している。

火曜日中心に公民館講座を計画するという話をしているが、担当者の考えや講師の都合で、今年度うまく計画できていないところもあってご迷惑をおかけしている。改めて、来年度に向けて反省点として挙げて検討していきたいと考えている。

(委員)

お願ひしたい。他にあるか。

(委員)

これだけの事業をやっているということを把握していなかったので、興味のあるものから参加してみたいと思っている。「子ども体験教室」に関しては学校からチラシが来るが、竹村製作所等へ行ったような事業についてのお知らせはどのように実施しているか。

(事務局)

環境学習会は大人向けの講座であるので、告知放送と回覧でお知らせしている。

公民館講座に関しては、3月に翌年度の年間チラシを全戸配布させていただいている。その他として、新年度に入ってから、毎月回覧で翌月・翌々月の講座についてお知らせをしている。開催日時、申込受付に関してはINCでも告知放送で広報をさせていただいているので、地区内の方たちは、放送を聞いて申し込みをいただいているのではないかと認識している。

「地域探検」は参加いただいた地区外の方に確認したところ、長野市生涯学習センターが発行している生涯学習だよりという冊子があり、こちらを見て申し込みをいただいているとのこと。既に「トレッキング」の申込みや、本館に設置してあるチラシを見て、他の講座に参加したいと申出いただいた方もいらっしゃるようである。

周知方法に関して、他にも要望があれば対応していきたいと思う。

(委員)

委員になってからこういうことに興味が出てきたので、可能な限り参加できるタイミングがあればぜひ参加させてもらいたいと思う。

(4) その他

(委員)

公民館講座運営は色々大変そうに感じた。

(事務局)

そういったこともあり、「スマホ教室」は必ず開講する講座となっている。先ほどのレベルアップのお話もいただいたが、まずは基本的なところを学ぶということを考えている。

(委員)

他にご意見なければ、以上で議事を終了としたい。